訪問型職場適応援助者養成研修モデルカリキュラム

※　下線部は、基礎的研修と重複する科目・内容を含んでおり、研修内容から省略することは可能である。省略する場合でも、同じ又は関連する科目の中で簡単に概要について触れるなど、ジョブコーチ支援に必要な内容であることを認識させることが望ましい。
　また、各研修機関において繰り返し学習が重要であると考える内容については、研修内容に再度設定することを妨げない。

No	科目	共通／訪問型・企業在籍型	内容	形態	時間数
①	職業リハビリテーションの理念と就労支援のプロセス	共通	・職業リハビリテーションの基本理念 ・就労支援のプロセスにおける職場適応援助者の役割と活用	講義	1～2
②	訪問型職場適応援助者の役割	共通、訪問型	・職場適応援助者の制度と役割 ・職場適応援助者の支援の流れ ・職場における障害者の権利擁護(障害者権利条約、合理的配慮等） ・守秘義務と情報の共有化	講義	1～2
			・訪問型職場適応援助者の役割 ・支援者の視点やアプローチの手法、支援のプロセス ・ケース会議の開催と留意事項 ・職場適応援助者助成金の概要、申請手続き	講義	1～2
③	障害特性と職業的課題	共通	・障害特性と職業的課題【身体障害（視覚、聴覚、肢体不自由、内部障害）、知的障害、精神障害（高次脳機能障害、若年性認知症を含む）、発達障害、難病】 ・障害特性に応じた支援方法、就業支援事例 （可能であれば、障害当事者の話を聞く機会を設ける。）	講義	3～5
④	就労支援に関する制度	共通	・障害者雇用施策の概要 ・労働基準法、最低賃金、労働安全衛生法等基本的な労働関係法規の概要 ・活用できる助成金制度の概要	講義	1～3
⑤	職場における雇用管理	共通	・事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ・就労支援における企業のニーズ ・障害者雇用の経験が少ない企業への支援に関する留意点	講義	1～2
⑥	企業文化の理解	訪問型	・企業経営の基礎 ・企業の視点や企業文化の理解 （可能であれば、企業の見学を行う）	講義（見学）	1～3
⑦	アセスメントの視点と支援計画に関する理解	共通、訪問型	・アセスメントの視点と方法	講義 演習	1～2
			・支援計画の意味、内容と活用方法 ・支援計画作成のためのアセスメント、プランニングの方法 ・面接・面談のポイント ・フォローアップ計画の意味と活用方法	講義 演習	2～4
⑧	企業へのアプローチと事業所における調整方法	訪問型	・企業へのアプローチ方法 ・事業所への働きかけと調整方法	講義 演習	2～4
⑨	事業所での支援方法の基礎理解	共通	・具体的な支援の流れと方法 ・職場環境アセスメント ・職域開拓と職務の再構成 ・ナチュラルサポートの形成（フェイディング後の計画的サポート） ・ストレスの把握と対処の重要性	講義 演習	3～6
⑩	職務分析と行動観察、作業指導	共通	・職務分析、工程分析 ・作業指導における行動観察とフィードバック ・わかりやすい伝え方 ・ジグや道具の活用と作業改善の提案	講義 演習	4～6
⑪	支援記録の作成	共通	・支援記録の作成方法と活用方法	講義（演習）	1～3
⑫	地域における関係機関の役割とネットワークの活用	共通	・雇用、福祉、教育、医療等地域の関係機関の役割 ・関係機関の役割分担と連携のあり方 ・関係機関への情報提供の仕方	講義	1～2
⑬	ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	共通	・ケアマネジメントの理念 ・職業生活を支える支援の考え方と方法 ・家族への支援の考え方と方法 ・職業生活支援における企業の役割と関係機関との連携	講義	1～3
⑭	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際	共通	・ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支援の方法を学ぶ	事例研究	2～4
⑮	面談による問題解決技法	共通	・問題の把握と解決に向けたカウンセリング、調整 ・行動修正を求める場合のフィードバック	講義 演習	2～4
⑯	事業所における職場適応援助者の支援の実際	共通	（必要に応じて、1時間程度の事前指導を行う） ・事業所実習 ・事業所における雇用管理の理解 ・事業所のアセスメント演習 ・仕事の伝え方、職務分析等の実習 （可能であれば、障害当事者の話を聞く機会を設ける。）	実習	7～8

企業在籍型職場適応援助者養成研修モデルカリキュラム

※ 下線部は、基礎的研修と重複する科目・内容を含んでおり、研修内容から省略することは可能である。省略する場合でも、同じ又は関連する科目の中で簡単に概要について触れるなど、ジョブコーチ支援に必要な内容であることを認識させることが望ましい。
　また、各研修機関において繰り返し学習が重要であると考える内容については、研修内容に再度設定することを妨げない。

No	科目	共通／訪問型・企業在籍型	内容	形態	時間数
①	職業リハビリテーションの理念と就労支援のプロセス	共通	・職業リハビリテーションの基本理念 ・就労支援のプロセスにおける職場適応援助者の役割と活用	講義	1～2
②	企業在籍型職場適応援助者の役割	共通、企業在籍型	・職場適応援助者の制度と役割 ・職場適応援助者の支援の流れ ・職場における障害者の権利擁護(障害者権利条約、合理的配慮等) ・守秘義務と情報の共有化	講義	1～2
			・企業在籍型職場適応援助者の役割 ・支援者の視点やアプローチの手法、支援のプロセス ・企業在籍型職場適応援助者助成金の概要、申請手続	講義	1～2
③	障害特性と職業的課題	共通	・障害特性と職業的課題【身体障害（視覚、聴覚、肢体不自由、内部障害）、知的障害、精神障害（高次脳機能障害、若年性認知症を含む）、発達障害、難病】 ・障害特性に応じた支援方法、就業支援事例 （可能であれば、障害当事者の話を聞く機会を設ける。）	講義	3～5
④	就労支援に関する制度	共通	・障害者雇用施策の概要 ・労働基準法、最低賃金、労働安全衛生法等基本的な労働関係法規の概要 ・活用できる助成金制度の概要	講義	1～3
⑤	職場における雇用管理	共通	・事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ・就労支援における企業のニーズ ・障害者雇用の経験が少ない企業への支援に関する留意点	講義	1～2
⑥	社会福祉の現状	企業在籍型	・障害者総合支援法における就労の位置付け ・障害の概念、社会福祉の視点等 （可能であれば、就労移行支援事業所等の見学を行う）	講義（見学）	1～3
⑦	アセスメントの視点と支援計画に関する理解	共通、企業在籍型	・アセスメントの視点と方法	講義 演習	1～2
			・支援計画の意味、内容と活用方法 ・支援計画作成のためのアセスメント、プランニングの方法 ・面接・面談のポイント	講義 演習	2～4
⑧	事業所内における調整	企業在籍型	・事業所内における管理者、社員への理解の促進 ・ケース会議等を通じて関係者と合意形成を図る方法の理解	講義 演習	2～4
⑨	事業所での支援方法の基礎理解	共通	・具体的な支援の流れと方法 ・職場環境アセスメント ・職域開拓と職務の再構成 ・ナチュラルサポートの形成（フェイディング後の計画的サポート） ・ストレスの把握と対処の重要性	講義 演習	3～6
⑩	職務分析と行動観察、作業指導	共通	・職務分析、工程分析 ・作業指導における行動観察とフィードバック ・わかりやすい伝え方 ・ジグや道具の活用と作業改善の提案	講義 演習	4～6
⑪	支援記録の作成	共通	・支援記録の作成方法と活用方法	講義（演習）	1～3
⑫	地域における関係機関の役割とネットワークの活用	共通	・雇用、福祉、教育、医療等地域の関係機関の役割 ・関係機関の役割分担と連携のあり方 ・関係機関への情報提供の仕方	講義	1～2
⑬	ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	共通	・ケアマネジメントの理念 ・職業生活を支える支援の考え方と方法 ・家族への支援の考え方と方法 ・職業生活支援における企業の役割と関係機関との連携	講義	1～3
⑭	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際	共通	・ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支援の方法を学ぶ	事例研究	2～4
⑮	面談による問題解決技法	共通	・問題の把握と解決に向けたカウンセリング、調整 ・行動修正を求める場合のフィードバック	講義 演習	2～4
⑯	事業所における職場適応援助者の支援の実際	共通	（必要に応じて、1時間程度の事前指導を行う） ・事業所実習 ・事業所における雇用管理の理解 ・事業所のアセスメント演習 ・仕事の伝え方、職務分析等の実習 （可能であれば、障害当事者の話を聞く機会を設ける。）	実習	7～8